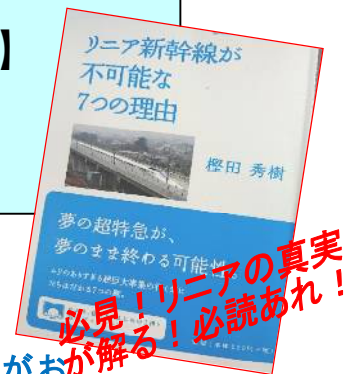


今世紀最大のバカ事業？ リニアが成功しない理由！

難問山積！いったいどうすんの？！

- 難問1【膨大な残土】
- 難問2【水涸れ】
- 難問3【住民立ち退き】
- 難問4【乗客の安全確保】
- 難問5【ウラン鉱床】
- 難問6【ずさんなアセスと住民による反対運動】
- 難問7【難工事と採算性】
- 難問8【老害葛西名誉会長の存在？】

これらの難問は、殆どが何も解決していないばかりか、説明会では何一つ住民を納得させる誠意ある回答はされていない。すべてが未解決。



JR東海は、これらの難問に対し、具体的根拠を示さず「環境対策はしっかりやります」「環境に影響はありません」「具体的回答は準備書説明会でします」「非難には何らかの道具は用意しますがお客様同士で助け合って戴きます」「住民への理解は事業者が判断します」などと常に「はぐらかし」に徹し、怒号が飛び交う誠意なき住民説明会をくり返している。これが違法に3兆円もの財投融資を受け事業を進める会社の姿勢と言えるのか！

沿線住民63万人の命をも軽んずるJR東海

前号で、静岡県川勝知事との「工事による大井川の毎秒2トンもの流量減少」に対する見解対立を明らかにした。柘植社長は、知事のコメントに「大変驚いている？誠心誠意つくしてきた！」などと真っ赤な嘘っぱちで平静を繕うが？

大井川下流には、7市63万人もの暮らしある。「毎秒2トンもの減少（一日は？）」は生活用水や農業を直撃する。沿線住民や自治体長は、「平穏な暮らしのため流量の維持」そこに暮らす生活権を求めているだけである。対立の原因は、「影響を出来るだけ低減する」とだけしか回答しないJR東海の誠意なき態度にこそ起因している。

沿線住民の命をも犠牲にして進める

リニア事業に正義などない！